

2021年2月期 第3四半期 決算説明資料

The logo consists of a solid blue square with the white text "MS&C" inside.

株式会社 MS & Consulting

P/Lサマリー(四半期比)

単位：百万円	2021年2月期 第3四半期 9月～11月	2020年2月期 第3四半期(注) 10月～12月	前年 同四半期比	2021年2月期 第2四半期 6月～8月	前四半期比
売上収益	322	679	-52.6%	272	18.1%
売上原価	-302	-442	-31.8%	-254	18.5%
販管費	-171	-171	-0.4%	-161	6.1%
その他営業損益	37	3	1282.3%	49	-24.8%
営業利益	-113	68	—	-93	—
EBITDA	-95	67	—	-74	—
親会社の所有者に帰属する 当期利益	-80	47	—	-65	—

注：2020年2月期第3四半期は、2019年10月1日～2019年12月31日
(決算期変更の経過期間となった2020年2月期は、2019年4月1日～2020年2月29日までの11カ月間)

✓ 前年同四半期比、大幅な減収減益

- 売上収益は52.6%減も、緩やかに回復(1Q:68.4%減 ⇒ 2Q:62.0%減 ⇒ 3Q:52.6%減)
- 「その他営業損益」は雇用調整助成金等の助成金収入により大幅増

✓ 前四半期比、売上収益は増加、営業利益は減少

- 旅費交通費や貸倒引当金など販管費が増加、前年同四半期比では大幅増となった「その他営業損益」も前四半期比では減少
- 売上収益は18.1%増も、売上原価及び販管費の増加や「その他営業損益」の減少により、営業利益は減少

P/Lサマリー(前年同期比、予想進捗率)

単位：百万円	2021年2月期 第3四半期累計 3月~11月	2020年2月期 第3四半期累計 4月~12月	前年同期 差異	前年同期 比	2021年2月期 通期業績 (当初予想)	予想進捗率
売上収益	800	2,047	-1,246	-60.9%	2,163	37.0%
売上原価	-795	-1,263	469	-37.1%	—	—
販管費	-502	-576	74	-12.8%	—	—
その他営業損益	87	8	79	987.8%	—	—
営業利益	-409	215	-624	—	101	—
親会社の所有者に帰属する 当期利益	-284	151	-435	—	67	—

- ✓ 売上収益は四半期比で緩やかに回復も、前年同期比では60.9%減と、依然厳しい業況
- ✓ 通期業績予想に対する売上収益進捗率は37.0%、3Q累計実績に4Q期初受注残高(国内)を含めた通期業績予想に対する売上収益充足率は57.4%
 - 感染第2波及び第3波による業績悪化や先行きへの警戒感から、MSRやコンサルの延期または中止を希望する既存顧客が想定以上に増加し、通期業績予想に甚大な影響
 - IT導入補助金対象認定を受けたSVナビやtenpoket チームアンケート(以下、チームアンケート)への注力が奏功するも、上記同様の理由により、3Qの受注は前年同四半期比75.9%と軟調に推移(1Q:36.9% ⇒ 2Q:80.0% ⇒ 3Q:75.9%)

国内における売上収益の内訳(四半期比)

単位：百万円

	2021年2月期 第3四半期 9月～11月	2020年2月期 第3四半期 10月～12月	前年同四半期 差異	前年同四半期 比	2021年2月期 第2四半期 6月～8月	前四半期 差異	前四半期 比
売上収益	312	669	△ 357	-53.4%	264	48	18.4%
MSR事業の売上収益	305	658	△ 353	-53.7%	257	48	18.6%
(内、MSR)	287	563	△ 276	-49.0%	226	61	26.8%
(内、コンサル)	18	95	△ 78	-81.4%	31	△ 13	-42.0%
(内、チームアンケート)	5	33	△ 28	-85.3%	11	△ 6	-55.0%
その他の売上収益	8	11	△ 4	-34.4%	7	1	9.5%
売上総利益	19	243	△ 224	-92.1%	17	2	12.1%
<売上総利益率>	6.2%	36.4%	-30.2%	—	6.5%	-0.3%	—
MSR調査数	4.1万回	6.0万回	-1.9万回	-31.5%	2.7万回	1.4万回	50.7%
チームアンケート調査店舗数	0.2万店	0.6万店	-0.4万店	-65.2%	0.5万店	-0.2万店	-50.2%

注：MSR事業には、MSRの活用を総合的にサポートするコンサルを含む

✓ 前年同四半期比、MSR、コンサルともに大幅減

- MSRの売上収益は49.0%減も、緩やかに回復(1Q:68.2%減 ⇒ 2Q:61.6%減 ⇒ 3Q:49.0%減)
- コンサルの売上収益は81.4%減と、依然として実施困難な環境が継続(1Q:80.9%減 ⇒ 2Q:72.2%減 ⇒ 3Q:81.4%減)

✓ 前四半期比、MSR調査数が大幅に増加、これにより売上収益も増加

- テイクアウトやデリバリーに活路を見出す外食業界、オンラインサービスを加速化させたい各種業界に向け、調査＋送客型MSRを展開
- MSR調査数は50.7%増と大幅に回復したものの、単価及び粗利の低い調査を伴ったことで、売上収益の増加は限定的

国内における売上収益の内訳(前年同期比)

単位：百万円

	2021年2月期 第3四半期累計 3月～11月	2020年2月期 第3四半期累計 4月～12月	前年同期 差異	前年同期比
売上収益	775	2,024	△ 1,249	-61.7%
MSR事業の売上収益	754	1,995	△ 1,241	-62.2%
(内、MSR)	691	1,712	△ 1,021	-59.6%
(内、コンサル)	63	283	△ 220	-77.7%
(内、チームアンケート)	21	106	△ 85	-79.9%
その他の売上収益	21	29	△ 8	-27.2%
売上総利益	5	777	△ 772	-99.4%
<売上総利益率>	0.6%	38.4%	-37.7%	—
MSR調査数	8.7万回	17.9万回	-9.1万回	-51.1%
チームアンケート調査店舗数	0.7万店	2.6万店	-1.9万店	-71.8%

注：MSR事業には、MSRの活用を総合的にサポートするコンサルを含む

- ✓ MSRの売上収益は四半期比で緩やかに回復も、前年同期比では59.6%減と、依然厳しい業況
- ✓ 粗利の高いコンサルの売上収益が77.7%減となったことに起因して、売上総利益が大幅に減少

資 産

	2020年2月期 連結会計年度 (2020年2月29日)	2021年2月期 第3四半期 (2020年11月30日)
単位：百万円		
現金及び 現金同等物	532	791
営業債権 及びその他の債権	764	295
流動資産合計	1,347	1,134
のれん	2,224	2,224
非流動資産合計	2,467	2,614
資産合計	3,814	3,748

負債及び資本

	2020年2月期 連結会計年度 (2020年2月29日)	2021年2月期 第3四半期 (2020年11月30日)
単位：百万円		
社債及び借入金	71	167
営業債務 及びその他の債務	519	513
流動負債合計	688	759
社債及び借入金	0	278
非流動負債合計	23	330
資本金	609	609
資本剰余金	1,542	1,543
利益剰余金	988	581
資本合計	3,103	2,659
負債及び資本合計	3,814	3,748

- ✓ 売上収益の減少と売掛金の回収により、営業債権及びその他の債権が減少
- ✓ 金融機関からの長期借入金500百万円(返済期間3年)により、社債及び借入金が増加

単位：百万円	2021年2月期 第3四半期 9月～11月	2020年2月期 第3四半期 10月～12月	前年 同四半期比	2021年2月期 第2四半期 6月～8月	前四半期比
	営業活動によるキャッシュ・フロー	91	142	-36.3%	-79
投資活動によるキャッシュ・フロー	-10	-16	-40.8%	-14	-33.0%
財務活動によるキャッシュ・フロー	-105	-22	384.5%	403	-126.0%
現金及び現金同等物の期末残高	791	544	45.6%	815	-2.9%

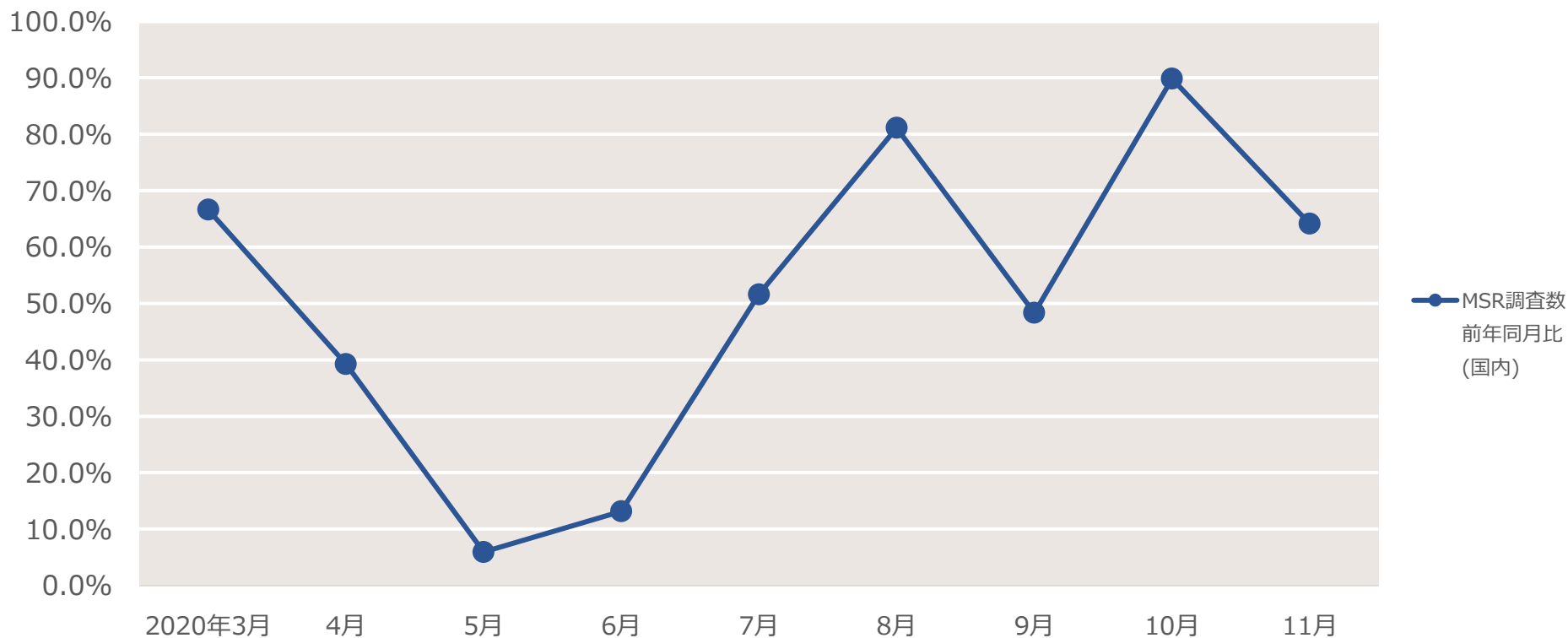
✓ 営業活動によるキャッシュフロー

- 1Qから続く売上収益の減少に伴い、3Qの営業活動によるキャッシュ・フローは昨年対比減少

✓ 財務活動によるキャッシュフロー

- 借入金の返済、中間配当、自己株式の取得により、3Qの財務活動によるキャッシュ・フローは105百万円の支出

ミステリーショッピングリサーチ | 前年同月比



- ✓ MSR調査数は7月以降回復傾向にあるものの、第3四半期全体では前年の6~7割程度の水準にとどまる
- ✓ 10月は前年同月比で9割近くに達しているが、前年の調査数が少なかったことによる

● 2021年2月期の通期業績予想の修正について

- ✓ 当社グループは、直近の業績動向を踏まえ、2021年2月期の通期業績予想を修正いたします。
詳細につきましては、2021年1月13日付「2021年2月期の連結業績予想及び配当予想の修正ならびに役員報酬の減額に関するお知らせ」をご参照ください。

● 配当の基本方針

- ✓ 当社の利益配分につきましては、株主の皆様に対する安定的かつ継続的な利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けた上で、将来の事業の発展と経営基盤の強化のための内部留保の充実と経営成績等を勘案し、IFRS(連結)の配当性向20%、日本基準(単体)の配当性向30%を目安として、配当を実施することを基本方針としております。
- ✓ 2021年2月期以降、中間配当及び期末配当の年2回の配当を実施する方針としております。

● 本中期経営計画期間中（2024年2月期まで）の株主還元基本方針

- ✓ 本中期経営計画期間中は、上記配当の基本方針を据え置く一方、累計総還元性向100%(日本基準・単体)を目指し、配当と合わせて自己株式の取得を進めることを、株主還元の基本方針としております。

(注)本中期経営計画…2019年5月9日ならびに5月22日に開示した中期経営計画

● 中間配当及び期末配当

- ✓ 上記の基本方針に基づき、2021年2月期の中間配当は1株当たり9.25円の配当を実施いたしました。
- ✓ 2021年2月期の期末配当予想は、1株あたり0円に修正いたします。詳細は2021年1月13日付「2021年2月期の連結業績予想及び配当予想の修正ならびに役員報酬の減額に関するお知らせ」をご覧ください。

(注) 期末配当は、2021年4月下旬に開催予定の当社取締役会の決議をもって正式に決定・実施となります。

appendix

商号	株式会社MS&Consulting
事業	一般消費者モニターを活用したリサーチ業務及び外食・サービス・小売業界を中心とした経営コンサルティングに関する業務
設立日	2008年5月16日
本社所在地	東京都中央区日本橋小伝馬町4-9小伝馬町新日本橋ビルディング
代表者	並木 昭憲（代表取締役社長）
資本金	608,538 千円（2020年2月末日現在）
従業員数	133名（アルバイト・パート除く、2020年2月末日現在）

	主力サービス	競合との差別化要因	次の成長エンジン
サービス	顧客満足度(CS)覆面調査 ミステリーショッピングリサーチ MSR	コンサルティング・研修	従業員満足度(ES)調査 tenpoket チームアンケート
内容	<ul style="list-style-type: none"> マーケティングリサーチの一種で、当社グループのモニターが<u>一般利用者として</u>実際に顧客企業の運営する店舗等を訪れ、商品や<u>サービスを評価</u> 「<u>2ストライク1ボール</u>」のレポートを理想とし、現場改善ツールとして活用 	<ul style="list-style-type: none"> ミステリーショッピングリサーチやtenpoket チームアンケートの調査結果をもとに<u>ボトムアップ型のサービス改善を支援するコンサルティングノウハウ</u> 調査による現状把握に止まらず、各種調査結果を用いた<u>改善活動の定着化をワンストップで支援</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 「リーダーシップ」「チームの遂行力」「チームの風土」「スタッフの主体性」「スタッフの満足度」の5つの観点で<u>従業員満足度を調査</u> 必要最低限の設問数で負担なく回答できる仕様で、<u>店舗の課題を把握、改善につなげる</u>



CS向上



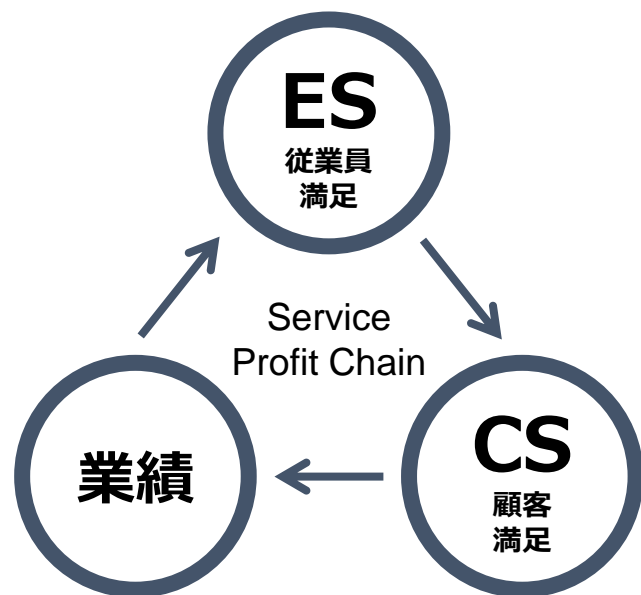
CS・ES向上
改善活動の定着化支援



ES向上

- ✓ 当社は、MSR、tenpoket チームアンケート及びコンサルの提供により、顧客企業が提供しているサービスの高品質化・高付加価値化を支援しています。

ビジョン | 顧客企業のサービスプロフィットチェーン経営の実現



■ 当社の主要サービス

ミステリーショッピングリサーチ

for CS

コンサルティング・研修

for CS/ES

tenpocket チームアンケート

for ES



経営理念 | 精神的に豊かな社会の創造

- ✓ SPCとは、顧客満足度の向上・従業員満足度の向上・業績の向上が互いに結びついており、好循環サイクルを実現することを指しています。当社は顧客企業がSPCを実現することを通して、経営理念である「精神的に豊かな社会の創造」を目指しています。

免責事項

- 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的として、株式会社MS&Consulting（以下「当社」という。）が作成したものであり、いかなる有価証券の売買の勧誘を目的したものではありません。
- 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しておりますが、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身の責任とご判断においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。